



**ギガスクール構想の進捗と取り組み**  
本市の移住促進事業と人口動向

**清水 明夫**  
(新風会)

**質問** GIGAスクール構想が本格始動してから初めての年度更新となるが、タブレット端末の更新についての作業方針は。

**答弁** 市教育委員会では、国が示す基準に沿って、卒業生の学習履歴などのデータを進学先に移行するとともに、新入生への端末配備や在校生の進級に伴う対応等の作業工程を各学校に示し、新年度にスムーズな移行ができるよう支援したい。

**質問** コーナーにはどのような人がアクセスしているのか。

**答弁** 移住定住情報コーナーには約4万人からの閲覧があり、アクセスがあった地域を分析すると、東京23区が全体の約16%、横浜市が約10%のほか、大阪市や名古屋市、北海道など、全国からアクセスがあった。今後このような情報を基に、主に首都圏に住んでいて移住を検討している人たちに本市の魅力がより効果的に伝わる手段を研究したい。



**教育現場のデジタル化**  
労使会館の建て替え

**逆瀬川 義久**  
(公明党)

**質問** オンライン授業による成果は。また担任の教員が新型コロナウイルスの陽性者等になった場合や、機器の操作が不得意な教員への対応は。

**答弁** 授業の配信により、登校できない児童・生徒に対し、学びを止めることなく学校とのつながりを保つことができた。また担任が陽性者等になった場合は、

他の教員により、学級の児童・生徒が休んでいけばオンライン授業を、登校していれば対面授業を行っている。タブレット端末の操作は、活用方法をまとめた資料の配布や研修等により、教員間、学校間で指導の差が出ないように努めている。

**質問** 新しい労使会館に備える体育館の位置や設備等



感染症対策を行い運営する保育園

は。また、駐車場の形態は。

**答弁** 体育館の位置や空調設備等は設計の中で決定するが、市民が気軽に利用できる施設となるよう整備している。

**質問** 保育所等が臨時休園になった場合の保育料と施設への運営費の取り扱い。

**答弁** 新型コロナウイルス感染症による小学校休業等対応助成金の周知は。

**答弁** 新型コロナウイルスの感染拡大により休園になった場合の保育料は、国の基準に従い、休園期間分を日割り計算して減額する。また市から施設に支払う運営費は減額しないことになっている。



**新型コロナウイルス対応に係る子育て支援**  
耐震性貯水槽

**三井 暢秀**  
(市民クラブ)

**質問** 助成金については、学校だよりなどを通じて、保護者への周知に努めている。

**質問** 市内11カ所にある耐震性貯水槽の設置目的は。

**答弁** 耐震性貯水槽は、災害時における飲料水の確保を目的として、昭和62年から避難所となる小・中学校の校庭などに設置した。現在、本市では飲料販売業者との協定などにより、災害時の飲料水の迅速な供給体制を整備している。よって、貯水槽の増設予定はないが、今後も関係機関と連携し、飲料水の確保に努めていく。



**窓ロサービスの向上**  
ウォーキングの推奨

**丸山 寛**  
(公明党)

**質問** 行政サービスのデジタル化における書かない窓口とはどのようなものか。

**答弁** 職員が窓口に来た人から必要な証明書などを聞き取り、支援システムに入力することで申請書を作成するもので、市民が記入する必要がないため、窓口サービスの向上につながると考えている。しかし、システム導入費や窓口の配置、混雑時の対応など、考慮しなければならぬ事柄も多いため、他自治体の事例も

参考としながら研究したい。

**質問** ウォーキングによりにぎわいを創出する考えは。

**答弁** 本市では、集客施設への利便性の向上や歩行者の安全確保などを目的に、高崎駅東西ペDESTリアンデッキや桜観音橋などの施設整備を進めてきた。その結果、中心市街地の歩行者通行量は飛躍的に増加し、街中の回遊性も向上した。これらを活用し、ウォーキングによるにぎわいの創出について、今後研究したい。



**子育て環境の整備**  
史跡保渡田古墳群

**青木 和也**  
(新風会)

**質問** 働く子育て世代のセーフティネットとして、病児・病後児保育の今後の取り組みは。

**答弁** 本市では、保護者の出勤前の負担を軽減するため、病児・病後児保育施設を併設する医療機関で開院前に子どもの体調を確認し、保育につなげるための制度を設けるなど、利便性の向上に努めている。また令和4年度には、病児・病後児保育施設が新たに1施設設置される予定であり、今後利便性や地域のバランス

等を考慮しつつ、施設の拡充を図っていききたい。

**質問** 史跡保渡田古墳群の整備状況と保存再整備事業の見直しは。

**答弁** 古墳群のうち、八幡塚古墳は平成5年度、11年度に築造当時の姿への復元整備を、二子山古墳は15年度、20年度に植栽による修景整備を行った。整備から10年以上が経過し、手当てが必要な箇所が見られるため、令和4年度から再整備に向けて準備を進めたい。



**交通安全施設整備事業**  
学校・保育園等の樹木管理

**根岸 赴夫**  
(新風会)

**質問** 令和4年度予算として、新たに通学路緊急安全対策工事を計上した経緯は。

**答弁** 全国的に通学路での児童・生徒の交通事故が多発していることから、車両の速度を抑制させるハンパの設置などのさらなる対策を早急に行う必要があると考え、令和4年度から3年間で重点的に取り組むもの

である。併せて、横断歩道を塗り直し、安全に横断できる交通環境を確保する。今後も関係機関と連携しながら、通学路の安全確保に努めていく。

**質問** 学校等の敷地から公道にはみ出した樹木や、老朽化した樹木の対処方法は。

**答弁** 軽微なものは各学校等で対応しているが、状況



スクールソーシャルワーカーの研修



**GIGAスクール構想**  
スクールソーシャルワーカー

**中島 輝男**  
(市民クラブ)

**質問** タブレット端末の家庭での使用時間が増えることでのいじめ等のトラブルが危惧されるが、その対応は。

**答弁** タブレット端末には、必要以上の情報が表示されないような制限や設定をしている。また各学校では、いじめ防止ことも会議で子どもたちがまとめたタブレット使用に関するルールを基に、児童会や生徒会が中心となり、端末を安全に使

用することができるように主体的に取り組んでいる。

**質問** 本市におけるスクールソーシャルワーカーの役割は。また採用予定者には

十分な研修期間を設けるべきと思うが、本市の対応は。

**答弁** スクールソーシャルワーカーは、学校だけでは解決が難しい問題について、関係機関と協力し、解決に向けた調整やさまざまなサービスの情報提供を行っている。採用後、1カ月程度研修を受けてから学校へ勤務となる。勤務後も抱える事例の意見交換により、スキルの向上を図っている。



**コロナ第6波から市民を守る対策**  
子どもと高齢者の感染防止

**伊藤 敦博**  
(日本共産党)

**質問** 自宅療養者や濃厚接触者に対するフォロワー体制と健康観察の状況は。

**答弁** 自宅療養者には、県の健康観察センターがパルスオキシメーターと、必要に応じて生活支援物資を配送している。健康観察も県が実施するが、本市の保健所に症状等の相談があった場合は、医療機関を紹介し、受診につなげている。

また濃厚接触者には、本市の保健所が症状等の聞き取りを毎日行い、発熱や呼吸器症状等がある場合は検

査につなげ、陽性者の早期発見に努めている。

**質問** 高齢者施設における感染拡大の現状と対策は。

**答弁** 年明け以降、高齢者施設では、クラスターが8施設、陽性者が237人と大幅に増えている。本市では、高齢者施設にマスク等の物資や抗原検査キットなどを配布し、感染拡大防止対策を行った。また、3回目のワクチン接種も早期に手配し、3月中旬に全ての施設で完了する予定である。

